

「粕屋町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（案）」に対する パブリックコメント実施結果について

令和5年9月25日（月）から令和5年10月24日（火）までの期間で、粕屋町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（案）について、パブリックコメントを実施し、ご意見を募集しておりましたので、その結果及び意見に対する回答をご報告いたします。

貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

1 意見提出者数

4人（意見箱：3人、電子メール：1人）

2 意見の概要とそれに対する町の考え方

No.	参照ページ	意見要旨	町の考え	対応
1	P36 (現P37)	<p>プラゴミの事業者の店頭回収を多いに進めてもらいたいですが、透明容器のみとかの制限があり、結局、家に持ち帰ってゴミに出しています。</p> <p>町のほうでどんな物でもプラゴミ回収袋を設けて出せるようにしてほしいです。</p>	<p>プラゴミの具体的対応を検討していく中で、ご意見の内容を調整・検討します。</p>	参考意見
	P40 (現P41)	<p>公共交通の利用のため車両やバスの便数を増やしてほしい。</p> <p>ふれあいバスの路線をもっと増やしてください。（夕方イオンモールへ行っても帰れないです。）</p>	<p>公共交通の対応につきましては、P29「①公共交通などの利用促進」の表中【事業者の主な取組み】・【行政の主な取組み】に記載しているとおり、「利用ニーズに応じた運行本数や乗継ぎアプリなどの導入検討や、町内巡回バスの利便性の向上に取り組んでまいります。</p>	記載あり

2	P21 (現P22)	<p>案を一読して創エネ（太陽光発電）への言及が目立っているが、使用するエネルギーを減らす方策も考えるべきだ。具体策として太陽熱温水器の普及、屋上緑化できれば壁面緑化の2点を提言する。</p> <p>【家庭部門】④住宅等の省エネルギー機器・設備の普及促進の中に温水器（初期投資の少ないものが普及し易いと思われる。）</p> <p>【運輸部門・産業部門】④物流施設工場等への太陽光発電云々…ここに太陽熱温水器を考慮</p> <p>【業務その他部門】③建築物の省エネ化の推進 ここに屋上緑化の視点を入れること</p> <p>気温上昇の著しい昨今、その熱をエネルギー消費の大きな部分を占めるお湯を作る方に利用すれば、それも地域ぐるみで動けば大きな効果を得られるだろう。屋上緑化は冷房暖房の節減になる。CO2の減少にも降雨の一時保管場所にもなる。又公園や保育園幼稚園でのパーゴラに植物をうえて緑陰を作ることにも多いにふやして欲しいと願っている。</p>	<p>ご意見を考慮して部門別施策に「太陽熱」を追加（P23, 32, 33）します。</p> <p>屋上緑化や壁面緑化に関しましては、ご意見を考慮しP34「③建築物の省エネルギー化の推進（ZEBなどの普及促進）」に追加します。</p> <p>また、エネルギーを減らす（省エネ）対策については、部門ごとに取組み内容を記載（P. 23～37）しています。</p>	修正 及び 記載あり
---	---------------	--	---	------------------

3	P36 (現P37)	<p>食品廃棄物の削減のための具体的な取組みがもう少し増えるといいなと感じました。</p> <p>生活に身近なところで、水分を大量に含む生ゴミの排出を町ぐるみで大幅に減らせたなら、かなりの温室効果ガス削減に繋がると思います。</p> <p>我が家では3年程前からバッグ型コンポスト（LFCコンポスト）を使っていますが、生ゴミゼロの生活は想像以上に快適で、気持ちも良く、続けられていて、ご近所にも少しずつ広がっています。マンションのベランダでも取り組みやすいので、もっと広がればという思いですが、粕屋町で補助金対象のものは、プラ容器または電動式として、置くスペース等の問題でなかなか始めにくいのが現状と思います。電動式は電気を必要とするという面も気になります。</p> <p>福岡市では、バッグ型コンポストも対象となっており、また家庭で使い切れない堆肥の回収ボックスもあることを知りました。もし、粕屋町でその堆肥がバラや桜の生育に活用できたら、素敵な循環のもっと魅力的な町としてPRできるのではと思います。ちなみに、バッグ型コンポストはスタイリッシュなデザインで、メディアでもたびたび取り上げられているので、コンポストのイメージが変わり、やってみたい方が増えるのではと思います。</p> <p>その上、災害でゴミの収集が止まったことを想定しても心強いです。また、清掃の際に集められた落ち葉が大量にゴミ袋に入っていますが、これもゴミとしてではなく、活用できるといいなと思います。</p>	<p>コンポストや堆肥の利用に関しましては、計画を推進する中でご意見の内容を調整・検討します。</p> <p>なお、P37「①食品廃棄物やプラスチックごみの削減などの推進」の表中【行政の主な取組み】に記載しているとおおり、食品廃棄削減の推進として、フードドライブ活動の普及、フードバンク活動など食品関連事業者の食品ロス削減に向けた取組みを支援してまいります。</p>	記載あり
---	---------------	---	---	------

4	<p>P11</p> <p>P5、23 (現P5、 P34)</p> <p>P17</p> <p>P19以降</p>	<p>「図2-10」と「図2-11」は累積であることを図のタイトルに入れたほうが、年計ではなく累積であることがわかりやすいと思います。</p> <p>「おひさまのまち花ヶ浦」の緑被率について、5ページでは「緑被率30%」、23ページでは「緑被率20%」と表記されています。どちらかが違うのではないのでしょうか。</p> <p>粕屋町の再生可能エネルギー導入ポテンシャルを太陽光発電のみとしています。環境省の「自治体排出量カルテ」によると太陽熱と地中熱も粕屋町で導入ポテンシャルがあるとされています。特に地中熱は、粕屋町の再生エネルギーポテンシャルのうち太陽光発電25%よりも大きな71%という割合が示されています。よって、環境省の資料からは「太陽光のみ」とは断定できないと思います。</p> <p>施策に熱（太陽熱及び地中熱）の利用を入れた方が良いです。熱から熱へエネルギーを交換する設備は廃熱を外気に放出しないため、ヒートアイランド現象の緩和が期待できます。太陽熱を利用した暖房・給湯は機器の構成が単純で導入しやすいため、粕屋町内でも既に多く導入されていると思います。今後も積極的に導入することを施策に入れてほしいです。地中熱の利用は、福岡県内の商業施設や学校施設等で導入済みであり、粕屋町でも選択肢の1つとしてほしいです。</p>	<p>「自治体排出量カルテ」（環境省）から引用していますが、ご意見に基づきタイトルに累積を追加します。</p> <p>P5の記載内容を20%に修正します。</p> <p>ご意見を考慮し、P17「第4章 地域の再エネポテンシャルの推計」に粕屋町の電気・熱利用それぞれのポテンシャルのグラフを追加し、施策の部分（P23, 32, 33）にも太陽熱・地中熱を追加します。</p> <p>ご意見を考慮し、太陽熱や地中熱について施策の部分に追加（P23, 32, 33）します。</p>	<p>修正</p> <p>修正</p> <p>修正</p> <p>修正</p>
---	--	---	--	---

	<p>P19</p> <p>地域課題として「自然的土地利用は町域東部の一部に限られ、森林によるCO₂吸収も限定的で、優良農地を除き再生可能エネルギー導入に向けた利用可能な未利用地は少ない状況です。」としていますが、その意味が分かりかねたため、質問と提案をします。</p> <p>○前半について</p> <p>「自然的土地利用は町域東部の一部に限られ、森林によるCO₂吸収はわずかなため、森林吸収源対策や農地土壌炭素吸収源対策、都市緑化等の推進が必要です。」としてはどうでしょうか。</p> <p>○後半について</p> <p>「優良農地を除き再生可能エネルギー導入に向けた利用可能な未利用地は少ない状況です。」という説明の意味がわかりませんでした。「優良農地」は「再生可能エネルギー導入に向け利用可能な未利用地」という意味ですか。</p>	<p>前半の提案につきましては、ご意見を考慮し、「自然的土地利用は町域東部の一部に限られ、CO₂吸収はわずかなため森林吸収源対策や都市緑化などの推進が必要です。」に修正します。</p> <p>後半の質問に関しましては、優良農地とは土地利用計画上の農業振興地域内の農用地区域を示しており、農業に特化したエリアとなります。これ以外の未利用地は少ないということを記述しておりました。なお、ご意見を踏まえ、「耕地への太陽光発電システムの導入においては、営農への影響などが考えられることから農業関係者との十分な協議・調整が必要です。」に修正します。</p>	<p>修正</p> <p>修正</p>
	<p>P20</p> <p>将来ビジョン：『太陽の恵みを受け 協働により地域がうるおう スマートシティかすや』について、粕屋町の基本理念である『太陽と緑のまち』から『緑』を取り払わないほうが、従来のまちづくりと整合します。</p> <p>そこで、『太陽と緑の恵みを受け 協働により地域がうるおう スマートシティかすや』としてはどうでしょうか。『緑』はCO₂を吸収・固定するとともに粕屋町を心地よく冷やしてくれ、温暖化対策に重要な要素となりますので、当計画の将来ビジョンにも必要と思います。</p>	<p>本町の場合、森林なども限られ、再エネの主体が太陽光発電と考えられたため「太陽」のみとしていました。</p> <p>なお、ご意見を踏まえ、将来ビジョンを『太陽と緑の恵みを受け 協働により地域がうるおう スマートシティかすや』に修正します。</p>	<p>修正</p>